# HORIBA, Ltd.

# Nomura Investment Forum 2016 日本語資料

December 1, 2016 Hotel Chinzanso, Tokyo

# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ●財務データ
- ●会社概要紹介

#### < 免責事項>

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料 が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基 づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれてい ます。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他 の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承 知おきください。

# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ●財務データ
- 会社概要紹介

# 2016年1-9月の振り返り

# 外部環境

- ◆ 熊本地震発生
- ◆ 英国のEU離脱が決定
- ◆ 排ガス・燃費問題
- ◆ 円高推移

### 内部 状況

- ◆ 新拠点「HORIBA BIWAKO E-HARBOR」竣工 (2016年5月)
- ◆ ホリバMIRA社買収後、初めての通期決算
- ◆ 2016年1月より収益認識基準を変更 (出荷日 ⇒ 据え付け・着荷日)

# 2016年1-9月の振り返り

### 2016年熊本地震(4月14日、16日発生)

### 株式会社堀場エステック阿蘇工場

-所在地:熊本県西原村

-主要製品 :マスフローコントローラー/半導体部門

-被害状況 :当社グループでの人的被害なし

一部建物が損傷(第2四半期に9.2億円の特別損失計上)

-被災後対応 :4月下旬から段階的に生産再開/京都工場で一部代替生産

**■** GW明けには震災前の水準の生産量へ回復

-現在の状況 :2016年6月で過去最高の生産量(月産)を更新





(7月30日時点)

# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- 財務データ
- 会社概要紹介

# 売上高·営業利益(1~9月実績、通期予想)

(単位:億円)

売上高	20
自動車	
環境	
医用	
半導体	
科学	
合計	1
営業利益	20
自動車	
環境	
医用	
半導体	
科学	
合計	

2015年	2016年	2015 vs 2016
1-9月	1-9月	比較
407	394	▲3.2%
119	118	▲0.8%
207	197	▲4.8%
277	277	+0.1%
192	181	<b>▲</b> 5.7%
1,203	1,169	▲2.9%
2015年	2016年	2015 vs 2016
1-9月	1-9月	比較
24	0	▲97.4%
11	11	▲3.5%
20	22	+9.6%
76	71	▲6.2%
6	1	▲84.0%
138	106	▲23.2%

2015年	2016年	2015 vs 2016
通期実績	通期予想	比較
654	640	▲2.2%
167	165	▲1.2%
276	265	<b>▲</b> 4.2%
353	370	+4.7%
267	260	▲2.8%
1,719	1,700	▲1.1%
2015年	2016年	2015 vs 2016
通期実績	通期予想	比較
52	35	▲32.7%
17	15	▲14.6%
25	27	+5.5%
94	90	▲4.6%
11	8	▲33.2%
201	175	▲13.1%

2016年	<b>通期</b>
前回予想	比較
650	<b>1</b> 0
165	_
265	_
350	+20
270	<b>1</b> 0
1,700	-
2016年	通期
前回予想	比較
40	<b>▲</b> 5
13	+2
25	+2
87	+3
01	
10	<b>A</b> 2

#### 【1~9月累計実績】

・円高等で減収減益

#### 自動車

- ・ホリバMIRA社分の売 上増も円高とMCT低 調で減収減益
- ・E-HARBOR稼働で 費用増加

#### <u>半導体</u>

・今期好調も円高で 昨年と同水準

#### 【通期予想】

- ・売上/営業利益の全社合計は据え置き
- ・自動車/科学は下方 修正
- ・半導体は上方修正
- ・環境/医用は利益の み上方修正

※2015年実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値(以後スライド内の2015年実績数値も全て同じ)

# 売上高·営業利益(四半期毎、実績·予想)

(単位:億円)

売上高
自動車
環境
医用
半導体
科学
合計
<b>堂</b>

自動車

環境

医用

半導体

科学

合計

2015年				
1Q	2Q	3Q	4Q	通期
141	125	140	247	654
42	39	36	48	167
72	66	68	68	276
103	87	86	76	353
69	61	61	75	267
430	380	392	515	1,719
		2015	在	

430	380	392	515	1,719
1Q	2Q	3Q	4Q	通期
22	7	<b>▲</b> 5	27	52
6	2	2	5	17
8	4	7	5	25
27	24	24	18	94
5	0	0	5	11
69	40	28	62	201

		20	6年	
1Q	2Q	3Q	40予想	通期予想
149	131	112	245	640
41	36	40	46	165
69	68	59	67	265
86	92	98	92	370
65	58	57	78	260
412	387	369	530	1,700
		20:	16年	

	2016年				
1Q	2Q	3Q	40予想	通期予想	
11	<b>5</b>	<b>4</b>	34	35	
6	2	2	3	15	
8	7	6	4	27	
23	21	26	18	90	
2	0	<b>1</b>	6	8	
51	26	28	68	175	

【4Q(10-12月)の見方】

#### 自動車

- ・売上予想は昨年比減 も円高影響を加味する と数量増加
- ・利益は増加予想。昨年 4QはE-HARBOR移転 費用が5億円発生

#### 半導体

- ・円高の中、出荷好調
- ・3Qでは2Q震災時の一 時的な出荷停止分を力 バー
- ・4Qも好調予想

# 受注の状況

(単位:億円)

	受 注				受法	主残
	2015		2016		2016	2016
	4Q	1Q	<b>2</b> Q	3Q	<b>2Q末</b>	3Q末
自動車	162	123	147	186	421	495
環境	41	34	41	36	45	42
医 用	71	76	64	56	39	35
半導体	69	95	96	104	44	50
科学	75	56	53	58	78	79
合 計	420	386	403	442	630	703

3Q受注 3Q受注残 半導体は過去最高水準、自動車も回復円高の中、順調に増加

# 通期連結業績予想

(単位:億円)

	1-9月	累計			通期		
	実	績	実績		2016年予想		
	2015年	2016年	2015年	年初予想	前回(8/3) 予想	今回予想	VS 8/3開示
売 上 高	1,203	1,169	1,719	1,750	1,700	1,700	-
営業利益	138	106	201	175	175	175	_
経常利益	134	103	196	165	170	170	_
親会社株主に帰属 する 純 利 益	86	72	132	108	108	108	_
配当(円)			70	75	75	75	

全社合計では前回予想より修正無し。配当予想も据え置き。

# 2017年市場想定

自動車



欧州/日本での排ガス規制強化、RDE規制の拡大等による 国内外自動車メーカー/部品メーカーの投資動向

環境



米州の石油化学関連企業の設備投資需要堅調中国でのVOC規制等の影響による需要変化

医用



国内: 開業医市場向けで堅調な推移を見込む

海外:医療費削減の動き注視

半導体



半導体製造プロセスの微細化/多層化の影響 次世代製造プロセスへの移行状況注視

科学



国内: 円安影響による民間企業の設備投資の回復に期待

海外: 欧米の政府予算関連の動向注視

# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- 財務データ
- 会社概要紹介



### **自動車 2016年1-9月実績/2016年通期予想**

(単位:億円)

2016年1-9月実績

国内自動車メーカーの投資需要堅調

日本や欧米で売上進捗低調。利益率低下 MCT

**♥ 昨年7月に買収したホリバMIRA社による売上増加 ECT** 

	2016年1-9月 売上高実績(前年実績)
排ガス	251 (252)
MCT	74 (122)
ITS	12 (12)
ECT	55 (20)

2016年通期予想

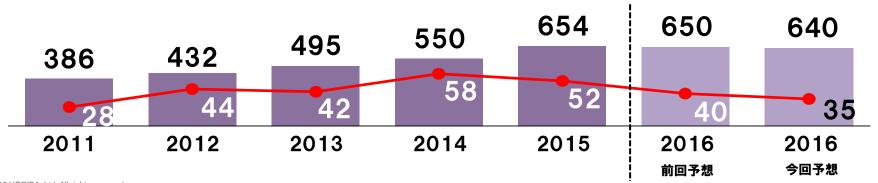
国内を中心に年末に向け出荷増加を予想

通期見込み下方修正。2017年での挽回期待 MCT

**ECT** 円換算で減収

	2016年通期 売上高予想(前年実績)			
排ガス	414 (398)			
MCT	137 (197)			
ITS	17 (17)			
ECT	72(42※半期)			

#### 売上高・営業利益推移(通期) ■ 売上高 🛏 営業利益



# 自動車 排ガスビジネス

#### 排ガスビジネス

日本での販売堅調(自動車メーカー、部品メーカー)

国内設備投資は堅調に推移

WLTP\*(国連提唱の世界統一排ガス試験法)

**■** EUで2017年9月、日本で2018年10月導入

RDE規制(路上試験:Real Driving Emission)

**WLTPと同じく2017年9月EUで開始** 

**\*WLTP···Worldwide** harmonized Light vehicles Test Procedure

### 300 200 2014 2015 2016 2016 2016

排ガス売上高 (単位:億円)

#### HORIBA BIWAKO E-HARBOR 稼働

竣工 :2016年5月23日

場所 :滋賀県大津市

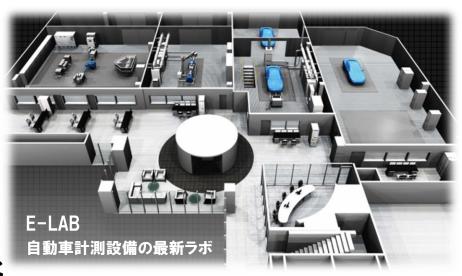
機能 :ガス計測技術の開発・生産拠点工場

自動車計測システムのラボ併設

狙い :生産効率化による収益性向上

ガス計測関連製品の開発加速

自動車計測のデモンストレーション強化



© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

前回見込 今回見込

## 自動車 第46回機械工業デザイン賞 最優秀賞受賞

### 車載型排ガス計測システム(OBS-ONEシリーズ)





- ◆ 生産財を対象とした工業製品のデザイン賞
- 最優秀賞である 「経済大臣賞」を初受賞







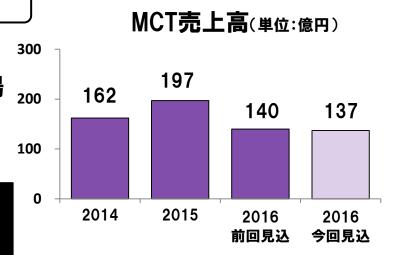
15

# 自動車 MCTビジネス/ECTビジネス

### MCTビジネス (自動車計測機器)

- ・2017年9月:EUでWLTP/RDE規制開始
  - 本年は自動車メーカーの設備投資の踊り場
- ・中国での戦略的な受注案件増加
  - ▶シェア拡大狙う。利益率は一時的に低下

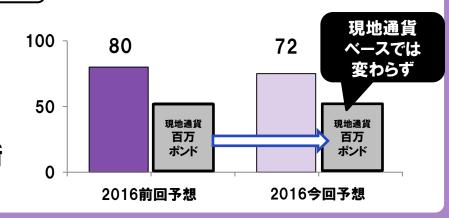
2017年~ ターンキー案件の拡大により 排ガスビジネスとの相乗効果を追求



### ECTビジネス (Engineering/ホリバMIRA社)

- ・円高ポンド安の影響で売上高減少
- ・英国EU離脱影響:今後の動向注視
  - ホリバMIRA社への設備投資は続行
    - ✓ 一部投資案件については慎重に判断

#### ECT売上高(単位:億円)



16 © 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

# 自動車 新興国市場への投資

### 2016年11月30日 ホリバ・インド社テクニカルセンター開設(プネ)



ホリバ・インド社

- ·設立 2006年
- ·従業員 281名

ホリバ・インド社 テクニカルセンター(プネ)

- ・HORIBAグループ9拠点目の自動車開発試験設備
- •びわこE-HARBORともデータ連係
  - →グローバルな開発支援体制を提供
- ・自動車試験設備やワークショップ設備に加え、科学 セグメントのショールームを備えた総合施設



インドでの自動車事業の売上高目標:30億円[2020年](2015年比1.5倍)

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

### 環境

# 2016年1-9月実績/2016年通期予想

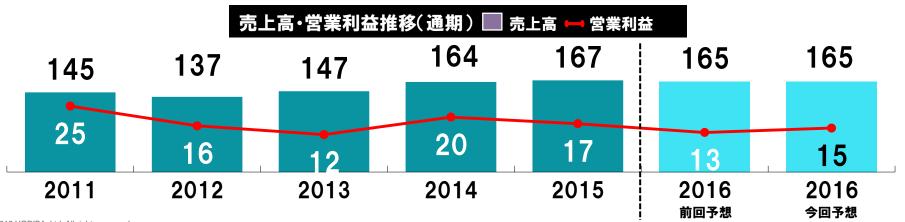
単位:億円)

#### 2016年1-9月実績

- アジア(主に中国)での煙道排ガス分析装置の販売低調
- 日本での水質計測機器の販売が低調

#### 2016年通期予想

- ・アジアでの半導体メーカーによる設備投資需要に期待
- 😑 中国で2016年開始の新環境規制 ➡ 市場は慎重に対応、一時的な需要減
- む 日本で官公庁や民間向けの水質計 ➡ リプレース需要取り込みをめざす



### 環境

### 装置販売からシステム販売へ

### システムソリューション提案によるビジネス機会の拡大

#### 例)米国テキサスでのプロセス計測設備ビジネス



対象市場:石油精製・石油化学関連企業

:ガスや水質計を組み合わせたシステム販売 HORIBA

売上高 :約15億円(2015年通期実績)

移転計画 :拠点移転拡張予定





### 分析計単品販売 → 製品を組み合わせたソリューション提案を他市場でも展開中



環境対策



© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved **HORIBA** Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

### 環境

### 中国(上海)環境規制とHORIBA対応

### 改訂版大気汚染防止法:VOC規制

規制内容: VOC【揮発性有機化合物】の発生源に対する排出規制

開始時期:2016年開始。他地域に先行して上海市が規制設定

→ 2017年1月までに上海市内にて段階的に対象業界拡大

→市場は規制対応方法に対し慎重になっている状況

## **HORIBA**

上海VOC規制に対応できる

計測機器をラインアップ

### 全炭化水素濃度測定装置



用途 大気汚染監視 VOCの除外装置評価 触媒実験用低濃度HC測定

など



### 2016年1-9月実績/2016年通期予想

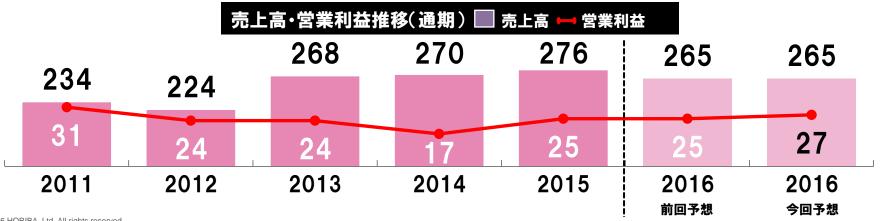
単位:億円)

#### 2016年1-9月実績

- 円高影響により円換算での欧米売上高減少
- 日本での自動血球計数CRP測定装置の販売堅調

#### 2016年通期予想

- 🖿 米国FDA承認取得費用、新製品投入のための販売促進費の増加を見込む
- □ 日本での自動血球計数CRP測定装置の販売堅調



### 医用

### 製品開発のスピード加速

### 日仏両拠点の開発技術を共有し、開発スピード向上をめざす

フランス拠点 ホリバABX社

技術共有

日本拠点 堀場製作所

【 Yumizenシリーズ 】( 中型機 )

2015年7月発売(欧州など)

自動血球計数測定装置の中型機 病院や検査センターでの利用を想定 【LC-767CRP】(小型機)

2015年3月発売(国内)

自動血球計数CRP測定装置の最新版 4分間で全項目測定可能 採血も少量のため小児検査に最適



グローバルブランド "Yumizen"の 第一号機種





### 医用

### 製品ラインアップ拡充施策

### 日本電子株式会社と生化学機器の欧米向け販売提携



概要 :生化学自動分析装置をOEM販売

対象 :欧米の病院、検査センター など

販売 :2017年1Qに欧州にて販売予定

狙い :生化学検査市場向けの製品群を拡充し、

欧米市場での事業拡大を図る

### 東ソー株式会社とHbA1c測定装置の国内向け販売契約を締結



概要 :糖尿病検査装置(HbA1c測定)の販売

対象 :国内のクリニック、糖尿病専門医 など

販売 :2016年6月販売開始

狙い:自社の小型グルコース分析装置、自動血球計

数装置と組み合わせることで、糖尿病診断の

トータルソリューションを提供

23

# 半導体 2016年1-9月実績/2016年通期予想

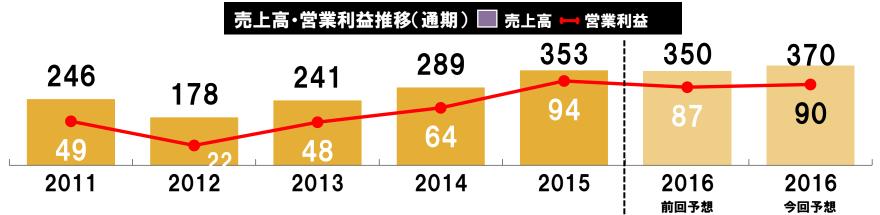
単位:億円)

#### 2016年1-9月実績

- 円高ドル安影響により円換算での売上高減少
- 本年4月の「2016年熊本地震」により阿蘇工場が被災
- 🖶 アジアでの半導体メーカーの設備投資需要が好調に拡大

#### 2016年通期予想

- 円高ドル安影響による円換算での売上高減少を予想
- 毋 アジアでの半導体メーカーの設備投資需要は下期も続くと予想
- 6月以降、マスフローコントローラー(MFC)の月産量は過去最高水準へ



### 半導体

## 阿蘇工場の拡大投資決定/シェア動向

### 阿蘇工場への投資

内容 :株式会社堀場エステック 阿蘇工場の増設

金額 :約22億円

開始 :2016年12月着工予定

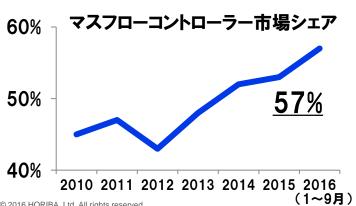
狙い :MFCの生産能力拡大(延床面積約1.5倍)

熊本地震後、熊本県で初の公開立地協定(増設)企業



西原村との協定調印式(7月30日熊本県庁にて)

### マスフローコントローラーの市場シェアと市場動向



#### 【市場動向】

半導体微細化、3D-NAND、ダブルパターンニング

→ 投資旺盛 → エッチング装置需要拡大

【HORIBA製品】

最先端の「差圧式センサー」搭載MFCの安定的な供給体制確立

### 科学

### 2016年1-9月実績/2016年通期予想

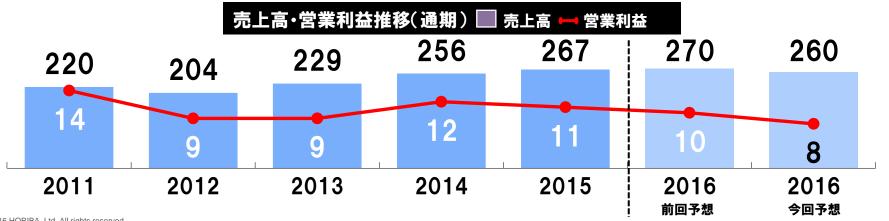
単位:億円)

#### 2016年1-9月実績

- 😊 円高影響により欧米売上高減少
- 🔷 米州で大学向け販売が低調

#### 2016年通期予想

- 🖿 円高影響により欧米売上高の減少を予想
- む客様に合わせたカスタマイズ製品による新規市場開拓を図る



### 科学

### HORIBA製品 宇宙での活躍

### HORIBA グレーティング(回折格子)ビジネス

特徴:分光分析装置のコア部品

世界トップシェア(当社調べ)

開発:ホリバ・ジョバンイボン社(仏)

グレーティング 連結売上高 34億円 (2015年度)



### 宇宙探査機にも多数搭載/JUNOに搭載され木星軌道に

- ・1968年から宇宙実験用グレーティングを開発
- ・各国の宇宙開発プロジェクトに貢献
- ・過去に20機以上の宇宙探査機に搭載



木星探査機JUNOにHORIBA製品が搭載

# Water「水」計測への注力

### 株式会社堀場アドバンスドテクノ(京都)に「水」計測のリソース集約

### <u>2017年1月</u>

堀場製作所の水計測事業

⇒堀場アドバンスドテクノ

へ事業承継(簡易吸収分割)

- > 市場とより密着した製品開発
- > 顧客満足度の向上

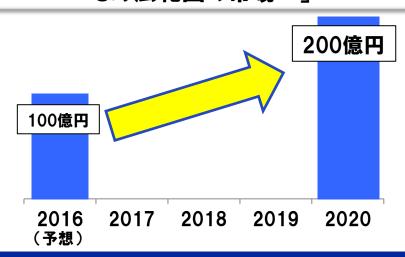
### 【今までのHORIBA対象分野】

環境 :工業廃水や上/下水管理

半導体:半導体製造プロセス管理

科学 :民間研究開発施設や大学

既存市場にとどまることなく「より広範囲の市場へ」



#### 【今後の対象分野】

- ① 現状強みがある分野のさらなる強化
- ② 水に関するサイクル全てを対象に

上水⇒産業プロセス⇒排水⇒下水

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.



# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ●財務データ
- 会社概要紹介



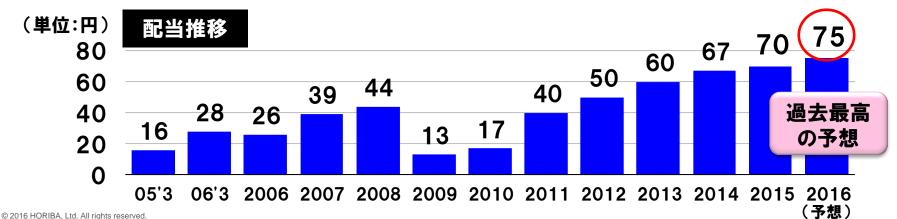
# 株主還元政策

### 基本的な考え方

- 配当金+自己株式取得 = 連結純利益×30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

### 配当金及び自己株式の取得

- 2014年実績 67円 [中間25円、期末42円]
- 2015年実績 70円[中間28円、期末42円]+自己株式取得(9.9億円)
- 2016年予想 75円 [中間30円、期末45円](前回予想から変更なし)



30

### MLMAP2020 シンボルマーク



### One Step Ahead ~新たなHORIBAを創造~

既存のビジネス領域から一歩踏み出し、拡大を追求する。 新たな視点で、技術・市場・組織の壁を越える。 自由自在な制御で既成概念を打ち破り、次のステージへ上昇する。

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

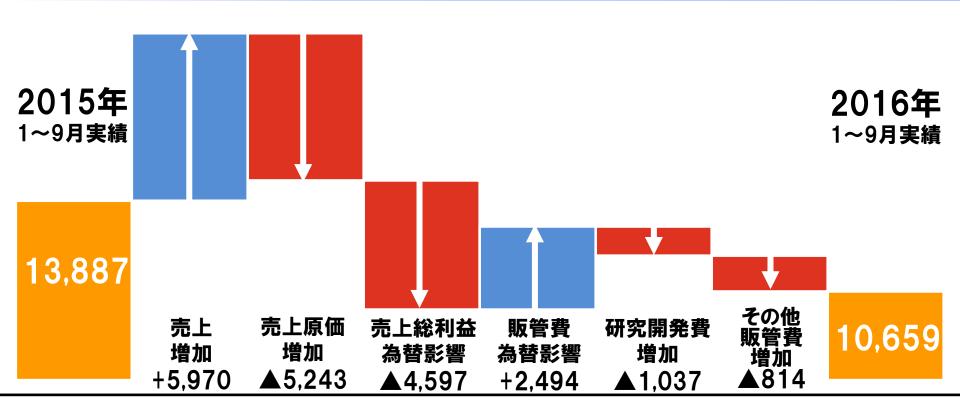
# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ●財務データ
- 会社概要紹介



# 営業利益分析(前年同期比較)

(単位:百万円)



売上増加影響 +727

為替影響▲2,101

経費増加影響 ▲1,851



営業利益減少 **▲**3.228

※2015年実績は2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値(以後スライド内の2015年実績数値も全て同じ)

33

# 設備投資額·減価償却費·研究開発費

(単位:億円)

		2014	2015	2016			
		通期 実績	通期 実績	3Q累計 実績	4Q 予想	今回 通期予想	前回(8/3) 通期予想
	有形固定資産	91	149	85	68	153	153
	無形固定資産	18	14	2	5	7	7
設備投資合計		110	163	87	73	160	160
減価償却費		49	61	49	16	65	65
研究開発費		119	123	94	36	130	130
	(対売上高比)	7.8%	7.2%	8.1%	6.7%	7.6%	7.6%

### 前回予想より修正無し。

# 為替の影響

### 2016年1-9月実績為替影響額

(百万円)		売上高				
		合計				
			USドル	ユーロ	ポンド	
自動!	車	<b>▲</b> 3,401	<b>▲</b> 723	<b>▲</b> 928	<b>▲</b> 1,479	
環	境	<b>▲</b> 643	<b>▲</b> 305	<b>▲</b> 104	<b>▲ 22</b>	
	用	▲ 1,899	▲ 566	▲ 886	<b>▲</b> 62	
	体	<b>▲</b> 2,013	<b>▲</b> 1,368	<b>▲</b> 110	<b>▲</b> 7	
	学	<b>▲</b> 1,472	<b>▲</b> 757	▲ 551	<b>1</b> 00	
合	#	<b>▲</b> 9,430	<b>▲</b> 3,721	<b>▲</b> 2,581	<b>▲</b> 1,672	

(百万円)		営業利益				
		合計	_			
			USドル	ユーロ	ポンド	
自 動	車	<b>▲</b> 42	<b>▲</b> 148	<b>4</b>	99	
環	境	<b>▲</b> 214	<b>▲</b> 68	<b>▲</b> 52	<b>▲</b> 10	
医	用	<b>▲</b> 237	<b>▲</b> 103	90	<b>▲</b> 10	
半導	体	<b>▲</b> 1,541	<b>▲</b> 1,198	<b>▲</b> 95	70	
科	学	<b>▲</b> 65	▲ 38	4	<b>▲</b> 74	
合	計	<b>▲</b> 2,101	<b>▲</b> 1,557	<b>▲</b> 58	75	

アジア通貨等の影響により、上記3通貨の影響合計が全社での影響合計に一致していません。

為替レート2016年通期予想 USドル:107円、ユーロ:120円

(4Qのみ USドル:102円、ユーロ:115円)

為替感応度 (2016年通期予想)

1円円高による 売上高/営業利益の影響額

<u>売上高</u>

USドル ▲420百万円

ユーロ ▲317百万円

ポンド ▲69百万円

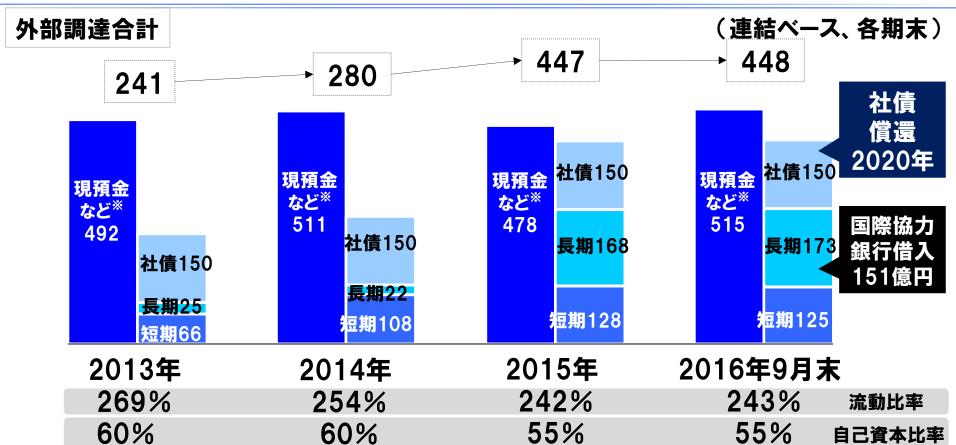
<u>営業利益</u>

USドル ▲175百万円 ユーロ ▲22百万円

ポンド ▲1百万円

# 資金の状況

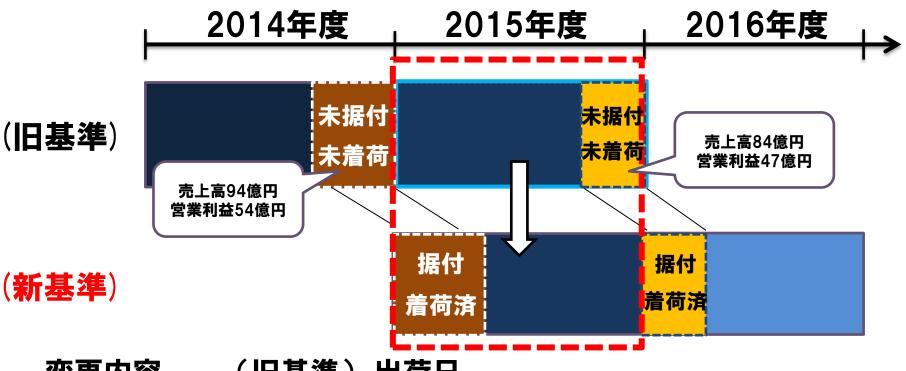
(単位:億円)



- ・債権流動化の契約を銀行2行と締結
- •直近の格付け:R&I「A-」(2016年7月)、JCR「A」(2015年9月)

**HORIBA** 

# 収益認識基準の変更



変更内容 (旧基準)出荷日

(新基準) 据付完了日·着荷日

適用時期 2016年12月期 期初

変更理由新しい基幹業務システムの導入を契機として、国際的な

会計基準との調和を図る。

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

# 説明内容

- ■2016年1-9月の振り返り
- ■2016年12月期 実績·予想
- ■セグメント別詳細説明
- ■株主還元
- ●財務データ
- 会社概要紹介



# 会社概要

■ 本社 京都市

■ 創業 1945年

■ 設立 1953年

■ 代表者 堀場厚(代表取締役会長兼社長)

決算日 12月31日

堀場 厚 代表取締役会長兼社長



- 社是

JOY and FUN

To have interest and pride in our work to enjoy our lives

# 5つの事業セグメント



自動車計測システム機器









環境・プロセスシステム機器











医用システム機器











半導体システム機器











科学システム機器









# 事業セグメント

自動車計測システム機器



環境・プロセスシステム機器



医用システム機器



半導体システム機器

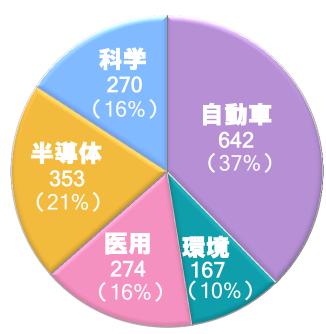


科学システム機器



### 売上高 1,708 億円

( )=売上高構成比率



事業セグメント別売上高(億円)

2015年度

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

# 世界市場シェア

### エンジン排ガス測定装置



### 煙道排ガス分析装置

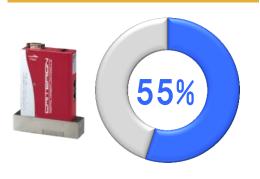




### 血球計数CRP計測装置



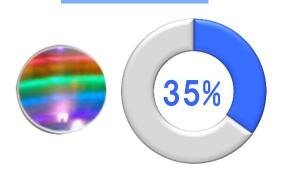
### マスフローコントローラー



ラマン分光測定装置



グレーティング



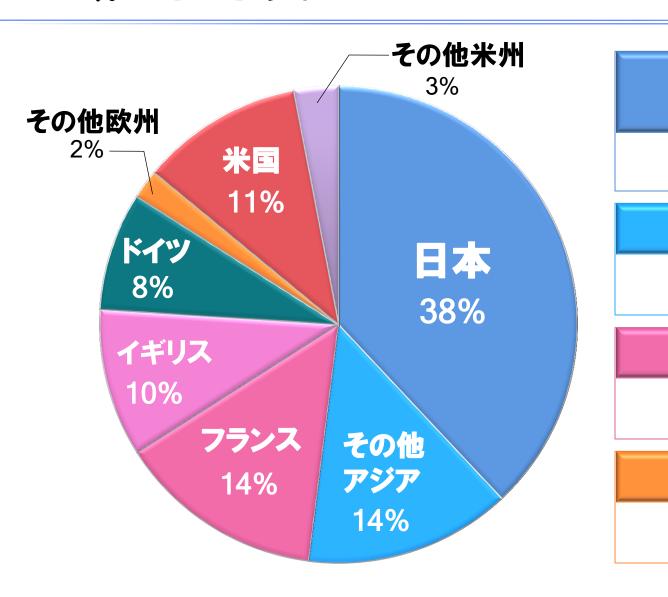
※各製品のマーケットシェアは当社推定値

# グローバルネットワーク売上高



43

# 地域別従業員比



従業員数 2015年12月31日現在

6,831名

アジア:3,545名

**52%** 

欧州:2,356名

34%

米州:930名

14%

© 2016 HORIBA, Ltd. All rights reserved. **HORIBA** Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

**HORIBA** 

ご清聴ありがとうございました。